

すこやかちゃん



ひなた けいと
姫詩ちゃん・奎澄ちゃん

(平成17年10月15日生・平成19年12月21日生)
両親＝林哲也・裕美さん〔三川〕
「わたしは歌が大好き♡
ぼくはいたずら大好き♡」



とも ひで
友英ちゃん(平成19年10月29日生)
両親＝伊藤英一・美穂さん〔川口〕
「お歌が大好き!!
音楽にあわせてダンスができるよ!!」



かず き すず
和樹ちゃん・涼ちゃん
(平成17年10月2日生・平成18年10月5日生)
両親＝常世田博之・菊江さん〔三川〕
「三輪車で競争だあ〜」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



あさひ浪漫紀行

―文化財を訪ねて―

② 百獣の王と百花の王

何かを「伝える」場合、絵画や彫刻などの図像を用いることで、言葉以上に深く、広く表現できることがあります。今回は、三川に鎮座する矢刺神社の彫刻を紹介します。

写真右の唐獅子は猫のような脚、カールした体毛の特徴を備えています。角をつけて「狛犬」の表現方法をとっています。狛犬は建築物の彫刻としては一般的ではありませんが、両者ともライオンが起源で、霊獣として中国から伝わりました。本殿前面の柱に取り付けられています。

一方、左は重厚感のある牡丹で、本殿の向拝をつなぐ梁の上に飾られています。

室町時代以降、特に江戸時代には社寺に動物や草花等が盛んに装飾されるようになりますが、華やかにすることだけが目的ではなく、その図像を表現することで象徴的な意味を訴えかけています。百獣の王である唐獅子は神聖な場所を守っていることを、そして百花の王である牡丹は高貴であることを示しています。彫刻が装飾されている意味



▲矢刺神社の彫刻

を考えると建造物に対する理解も深まりそうです。

これらは江戸時代末に15歳で彫刻の道を志し、25歳で独立して以来、当地域で腕を振るった石田丹治によるものです。

このほか、唐獅子と双壁をなすものとして龍があります。水をつかさどり、火災を防ぐ霊獣として装飾されます。水や海とかかわりの深い玉崎神社(飯岡)や龍福寺(岩井)、雷神社(見広)にも足を運んでみてはいかがでしょうか。

参考文献『図説社寺建築の彫刻』

(生涯学習課文化振興班)

暮らしのカレンダー

- 3日(日) 憲法記念日
- 4日(月) みどりの日
- 5日(火) こどもの日
- 6日(水) 長熊春のヘラ鮎釣り大会(午前6時～)
- 9日(土) 市民陸上競技大会(午前9時～東総運動場)
- 10日(日) 母の日
- 31日(日) 春のゴミゼロ運動(午前8時～)

古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

市内局番「60番台→50番台」「50番台→60番台」へかけるときは「0479」が必要です。

編集後記

今年から、高速道路料金の値下げ拡大が一部で始まりました。この値下げを機に、大型連休を使って、車で旅行をしようと考えている人もいると思います。私もその中の一人です。しかし、気になるのは、毎年この時期にニュースなどによく見る交通渋滞。今年は、例年にも増して混雑が予想されています。渋滞で車がなかなか進まないことにイライラして事故を起こしてしまったり、せっかくの楽しい旅行も台無しです。今年は丑年、たまには牛歩も良いのではないのでしょうか。(A)